

吾妻中学校だより

第5号 吾妻中の庭：雨上がりの昆虫

7月 4日 文責 富樫

○ 自ら学ぶ生徒

○ 心豊かな生徒

○ 体たくましい生徒

小中連携の授業

毎年吾妻小学校と合同で、よりよい授業の在り方を目指し毎年授業研究会を持っています。今年は本校の長嶺教諭が1年生の理科の授業を行いました。小中学校の全先生で参観しました。なにしろ1年生は人数が少ないので自分の力で実験をしなければなりません、人数の多いクラスだと回りの生徒に任せてしまう場面も多いのですがそうは行かないのが吾妻中です。でも自分で実験を行うことで技能が身に付き内容もよく理解できるようになります。手厚い授業をこれからも続けていきます。小学校の先生方に1年生の成長を見せることができました。



異なる考え

部活動や文化祭など学校行事を一緒にやっていくときに異なる考え方はあるものです。「自分の考えと違うからあいつはダメだ」と排除するのではなく、そういう考えもあるんだと受け止めることも大切です。その後異なる考えを受け入れながらよりよい考えを作りだしていくことができるような指導をしています。学年や性別に関係なく、まずは相手の考えを聞くこと。そして相手にわかりやすく説明すること。この繰り返しをたくさんすることでコミュニケーション能力を高めていきます。

第2学年 学年行事 お世話になりました

かつては4年連続で日本一きれいな水質だった猪苗代湖が日本一ではないですが最近久ぶりにランクインしました。水質ランキングは、全国の188湖沼を対象に実施したようです。これまでは水の汚れを示す化学的酸素要求量(COD)、大腸菌群数など4項目の基準を全て満たした湖沼が対象だったが、大腸菌群数は自然要因が多いことから、最近はCODのみの数値で順位付けしています。

第2学年の学年行事で湖岸清掃をしていただきました。地域の宝である猪苗代湖を一生懸命清掃している姿は福島民報新聞にも掲載されました。その後のそば打ち体験でも子どもたちは良い経験ができました。ありがとうございました。



ちょっといい話（授業編）

3年生の体育の時間に生徒たちは長距離走のタイムを測定しているときの話です。生徒たちはお互いに励まし合い女子は1000m、男子は1500mに挑戦しました。生徒同士が声をかけ合って応援している姿に感動することはよくある話ですが、本校ではここからが違います。授業のない教職員が歯を食いしばって走る生徒に応援をする姿がありこれもまた感動しました。それに加えてびっくりしたのはある男子生徒に「昨年度と比較してどうだい」と尋ねたところ、1年生の記録から全部覚えていました。その記録を突破することができたようです。誰かに応援される時、人は本気になる。

感謝

吾妻中には体育後援会という組織があります。この組織は本校の生徒の活動のため地域の皆様から寄付を募り子どもたちが不自由なく部活動をやれるようサポートしてくださっています。お陰様で子どもたちの使用する道具が揃えることができています。

